

令和4年度 全国学力・学習状況調査分析

横浜市立東山田中学校

【国語】

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)			
			貴校	神奈川県(公立)	全国(公立)	
全体		14	73	69	69.0	
学習指導 要領の 内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	6	78.6	72.3	72.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	49.3	43.7	46.5
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	3	70.3	70.5	70.2
	思考力, 判断力, 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	71.8	65.1	63.9
		B 書くこと	1	49.3	43.7	46.5
		C 読むこと	2	72.7	69.9	67.9
評価の観点	知識・技能	10	73.2	68.9	69.0	
	思考・判断・表現	6	68.3	63.1	62.3	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	6	76.6	74.5	73.7	
	短答式	5	74.5	70.0	70.3	
	記述式	3	65.4	57.7	57.4	

多くの領域や観点において、全国平均を上回る結果が見られました。言語文化に関する基礎知識の定着や物語の読む力の向上が課題です。授業内で小テストなどを行い、繰り返して学習することやアクティブラーニングを取り入れ、生徒同士が互いの考えや発見を伝え合うなどの工夫を通じてアプローチをしていきます。

【数学】

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	神奈川県(公立)	全国(公立)
全体		14	57	53	51.4
学習指導要領の領域	A 数と式	5	64.2	57.9	57.4
	B 図形	3	49.1	45.6	43.6
	C 関数	3	50.6	46.0	43.6
	D データの活用	3	60.7	57.8	57.1
評価の観点	知識・技能	9	65.4	61.1	59.9
	思考・判断・表現	5	42.8	37.5	36.2
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	4	58.4	54.2	52.6
	短答式	5	70.9	66.7	65.7
	記述式	5	42.8	37.5	36.2

多くの領域や観点において、全国平均を上回る結果が見られました。思考力・表現力の向上が今後の課題です。授業内で、アクティブラーニング型の授業を取り入れ、自ら考えて説明する能力を高めていきたいと思えます。

【理科】

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	神奈川県(公立)	全国(公立)
全体		21	53	50	49.3
学習指導要領の領域	「エネルギー」を柱とする領域	6	45.1	42.4	41.9
	「粒子」を柱とする領域	5	53.0	51.4	50.9
	「生命」を柱とする領域	5	64.8	59.7	57.9
	「地球」を柱とする領域	5	45.9	45.0	44.3
評価の観点	知識・技能	7	48.7	46.5	46.1
	思考・判断・表現	14	54.7	52.0	51.0
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	15	52.1	50.3	49.6
	短答式	1	28.6	25.5	24.8
	記述式	5	59.3	54.8	53.5

多くの領域や観点において、全国平均を上回る結果が見られました。一方で、観察や実験のデータに対して、正しく処理し、結論を導き出す力の向上が、今後の課題です。例えば、多くのデータがある中から、結論の根拠となるものを探すといった活動を授業内でおこなうことから、課題の解決を図ります。